

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束をしないケアの実践とあるが、スピーチロックに関しては日々のケアの中で細心の注意をもっともっと払っていかなければならない。3年間の継続の課題としたい。	気づいたその場で職員同士が互いに声を掛け合い、注意をしあう環境づくりが出来つつあると思われる。だが日常のケアの意志下において実践し注意をしなければならない場面がある。改善は認められるものの、さらに研鑽していきたい。	2年間の継続で、得てきた経験と実績を無駄にすることなく、3年目の今後、更なる結果の出せる研修や職員会議においても意識づけと実践に即した対応と、振り返りを重ねていくことが必要と考える。	12ヶ月
2	48	コロナ禍3年目をむかえ、閉鎖的な環境の中アクティビティに継続した注力の必要を感じている。	認知レベルの低下に伴い個別の対応が多く望まれる。身体的、知的、娯楽等を考慮し、多岐にわたるアクティビティの手法等を取り込み対応していきたい。	アクティビティにおける入居者様本人からの希望の拾い上げ、アプローチ方法等個別計画書の作成と対応方法を職員間で統一。実践。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。